

鹿児島県国保連合会

KOKUHO KAGOSHIMA

2016. 9
No.596

国保 かごしま



特集

平成28年第2回鹿児島県国民健康保険団体連合会通常総会

新制度移行に向け適正に対応し 保険者の負託に応える

市町村の取り組み

てげてげ広場事業(枕崎市)

みんなが寄って、語って、笑って
頑張り過ぎない、ちょうどいい集いの場

保健師の目線

実際の保健指導からインスリンと
血糖値の関係を考えてみる

保健活動を考える自主的研究会

保健師 門田 しず子

いっぺこっぺ さるこう かごしま

南大隅町の中心・根占のまちを楽しもう

かごしま探検の会 代表理事 東川 隆太郎



12の報告事項と22の議決事項全てが原案どおり可決・承認された通常総会



葛迫博信事務局長



浅修一常務理事



本田修一理事長



県保健福祉部の古籐宏明部長



平成28年第2回鹿児島県国民健康保険団体連合会通常総会 新制度移行に向け適正に対応し 保険者の負託に応える

鹿児島県市町村自治会館のホールにおいて7月29日、第2回通常総会が開かれ、会員総数45人中委任状を含む35人が出席した。平成27年度の予算補正や規約の一部改正、平成27年度の事業報告及び歳入歳出決算の認定について審議され、12の報告事項と22の議決事項全てが原案どおり可決・承認された。

審査支払機関としての さらなる充実を図る

開会にあたり本会の本田修一理事長（志布志市長）が「厚労省から、1月に納付金及び標準保険料率の算定に関するガイドライン（案）と国保運営方針の策定に関するガイドライン（案）が、6月には保険給付費等交付金に関するガイドラインが通知され、交付金に係る法令上の規定の仕方や市町村の事務負担軽減を目的とした国保連合会への直接支払の手順や課題などが示されている。また、平成30年度の国保新制度移行に向けて、厚労省は、

国保保険者標準事務処理システムや国保情報集約システムに関する説明会を開催し、都道府県・市町村・ベンダ・国保連合会それぞれにおいて、必要なデータの作成や既存システムの改修などについてスケジュールに遅延がないよう対応するよう説明がされた。本県においても、国保新制度移行準備連絡会議や『財政』『事務効率化』『医療費適正化』の3つの検討部会において、協議・検討がなされており、移行に向けた準備が随時進められている。このような状況の中、本会としては、これまで以上に組織や事業の効率化に努めるとも



事務局の説明に対し、熱心に耳を傾ける出席者

に、審査支払機関としてのさらなる充実を図り、保険者の負託に応えられるよう努めてまいりたい」とあいさつした。

緊密な連携を図りながら 新制度移行に取り組む

続いて、来賓として鹿児島県保健福祉部の古園宏明部長が「国民健康保険制度については、高齢化の進展や医療技術の高度化等により、医療費が毎年増加するなど、非常に厳しい状況が続く中、平成30年度からの新制度実施に向けて、準備作業が進められている。今年度に入り、新制度の根幹となる国保運営方針の策定要領や、納付金

等の算定方法、保険給付費等交付金のガイドラインが国から正式に示されたところであり、現在、これらを基に、昨年10月に設置した国保新制度移行準備連絡会議の作業部会で、具体的な検討が行われている。本県国保の運営方針等が決まるまでには、解決すべき課題も多く、まだまだ時間を要するところではあるが、県としては、各保険者及び国保連合会の皆様方と、今後とも緊密な連携を図りながら、新制度へ円滑に移行できるよう取り組んでまいりたい。また、各保険者の皆様には、これまで特定健診・特定保健指導等の保健事業の充実や後発医薬品の利用促進などの様々な医療費適正化の取組のほか、保険料の収納率向上対策などに努めていただいているが、国保制度の健全かつ安定的な運営の確保を図るため、引き続き積極的に取り組んでいただきたい」とあいさつした。

事業の充実強化を図り 適正な運営に努める

続いて、本田理事長を議長に選出し、議事録署名者に大崎町の東靖弘町長と屋久島町の荒木耕治町長を指名し、議事に入った。

報告第17号から第28号ならびに議案第23号から24号を各課長が説明し、原案どおり可決・承認された後、本会の葛迫博信事務局長が議案第25号の平成27年度事業報告について説明。その中で葛迫事務局長は「診療報酬審査支払事業について、適正な審査支払業務に努め、

また、審査の充実強化のため職員の研修などを実施し、事務共助体制の強化を図り、業務の適正な運営に努めた」と報告。介護給付適正化支援事業について、「全保険者を対象に、介護給付適正化支援のため、システムから出力される縦覧点検及び医療情報との突合点検の帳票を、本会において点検作業し、事業所確認作業から過誤申し立てまでを一貫して本会で実施した」と説明。保健事業等のための保険者支援については、「医療費の大きな割合を占める生活習慣病を予防し、医療費の適正化に資するため、医療や健診・生活習慣等の現状を詳細に分析し、予防対策を保険者と検討し保健事業計画の策定や実施の支援を行い、また、ふれあいサロンへ支援者を派遣し、高齢者の健康保持・寝たきり防止を図るための保険者支援を行った」と述べ、事業計画の基本方針に基づき、

重点事項を柱に事業を実施したと報告した。（重点事項については7ページに掲載）

引き続き、議案第26号から議案第44号までの審議および監査報告（豊留悦男監事・指宿市長）が行われ、いずれも原案どおり可決・承認された。

閉会にあたり、本会の湊修一常務理事が「本日提案をした議案等について、全て承認、議決をいただいた。私どもは、皆様方の負託に応えるべく今後とも全力で取り組んでまいりたい」と述べた。



事業実施状況及び決算監査の結果について監査報告を行う指宿市長の豊留悦男監事

公告

平成28年7月29日の通常総会において、平成27年度一般会計並びに各会計の決算が承認されたので公告する。

平成28年7月29日

鹿児島県国民健康保険団体連合会 理事長 本田 修一

《平成27年度各会計別決算状況》

●一般会計

(単位:円)

歳 入			歳 出		
款 別	予算現額	収入済額	款 別	予算現額	支出済額
1 負担金	82,005,000	81,994,801	1 会議費	990,000	963,510
2 国庫支出金	7,093,000	5,114,000	2 総務費	159,969,000	138,109,771
3 国保中央会支出金	1,000	0	3 事業費	55,409,000	48,564,226
4 財産収入	1,000	0	4 借入金償還金	1,000	0
5 繰入金	884,385,000	884,383,318	5 積立金	15,778,000	7,578,000
6 繰越金	46,165,000	46,165,479	6 繰出金	72,196,000	72,195,161
7 諸収入	33,561,000	31,803,755	7 諸支出金	728,854,000	728,798,041
8 借入金	1,000	0	8 予備費	20,015,000	0
歳 入 合 計	1,053,212,000	1,049,461,353	歳 出 合 計	1,053,212,000	996,208,709

●診療報酬審査支払特別会計 業務勘定

款 別	予算現額	収入済額	款 別	予算現額	支出済額
1 手数料	590,923,000	570,327,754	1 総務費	518,778,000	468,291,816
2 国庫支出金	7,023,000	3,700,500	2 審査委員会費	44,786,000	43,120,255
3 国保中央会支出金	1,000	0	3 レセプト電算処理システム特別分担金	104,220,000	103,694,390
4 助成事業受入金	177,522,000	177,521,378	4 助成事業支出金	177,522,000	177,521,378
5 繰入金	145,985,000	139,927,517	5 積立金	137,170,000	137,168,943
6 繰越金	114,381,000	114,380,510	6 特別審査負担金	2,546,000	2,424,798
7 諸収入	11,542,000	10,105,019	7 借入金償還金	1,000	0
8 借入金	1,000	0	8 諸支出金	55,015,000	54,358,485
歳 入 合 計	1,047,378,000	1,015,962,678	9 予備費	7,340,000	0
			歳 出 合 計	1,047,378,000	986,580,065

●診療報酬審査支払特別会計 国民健康保険診療報酬支払勘定

款 別	予算現額	収入済額	款 別	予算現額	支出済額
1 国民健康保険診療報酬受入金	155,954,278,000	153,229,860,441	1 国民健康保険診療報酬支出金	157,600,620,000	154,534,730,559
2 借入金	700,000,000	0	2 市町村貸付金	700,000,000	0
3 市町村償還金	700,185,000	0	3 借入金償還金	700,185,000	0
4 繰越金	25,031,000	25,031,088	4 繰出金	1,000	0
5 諸収入	2,000	79	5 予備費	25,032,000	0
6 国庫支出金	1,646,342,000	1,646,435,822	歳 出 合 計	159,025,838,000	154,534,730,559
歳 入 合 計	159,025,838,000	154,901,327,430			

●診療報酬審査支払特別会計 公費負担医療に関する診療報酬支払勘定

款 別	予算現額	収入済額	款 別	予算現額	支出済額
1 公費負担医療受入金	4,308,768,000	3,601,436,416	1 公費負担医療診療支出金	4,308,768,000	3,606,464,927
2 繰越金	23,374,000	16,886,165	2 予備費	23,376,000	0
3 諸収入	2,000	0	歳 出 合 計	4,332,144,000	3,606,464,927
歳 入 合 計	4,332,144,000	3,618,322,581			

●診療報酬審査支払特別会計 出産育児一時金等に関する支払勘定

款 別	予算現額	収入済額	款 別	予算現額	支出済額
1 出産育児一時金等受入金	4,041,120,000	4,041,119,625	1 出産育児一時金等支出金	4,041,120,000	4,041,119,625
2 借入金	1,000	0	2 市町村貸付金	1,000	0
3 市町村償還金	2,000	0	3 借入金償還金	2,000	0
4 繰越金	1,000	0	4 予備費	3,000	0
5 諸収入	2,000	0	歳 出 合 計	4,041,126,000	4,041,119,625
歳 入 合 計	4,041,126,000	4,041,119,625			

●後期高齢者医療事業関係業務特別会計 業務勘定

(単位:円)

入			出		
款 別	予算現額	収入済額	款 別	予算現額	支出済額
1 手数料	565,583,000	552,811,597	1 総務費	450,912,000	413,191,802
2 国庫支出金	6,767,000	3,443,500	2 審査委員会費	62,970,000	61,060,040
3 県支出金	1,000	0	3 特別審査負担金	1,786,000	1,399,202
4 繰入金	44,931,000	43,507,874	4 積立金	82,665,000	82,663,659
5 諸収入	2,000	239,702	5 繰出金	33,000,000	33,000,000
6 繰越金	68,999,000	68,998,610	6 負担金	26,661,000	26,315,608
7 借入金	1,000	0	7 借入金償還金	1,000	0
			8 諸支出金	1,000	0
			9 予備費	28,288,000	0
歳 入 合 計	686,284,000	669,001,283	歳 出 合 計	686,284,000	617,630,311

●後期高齢者医療事業関係業務特別会計 後期高齢者医療診療報酬支払勘定

款 別	予算現額	収入済額	款 別	予算現額	支出済額
1 後期高齢者医療診療報酬受入金	255,983,061,000	255,902,540,525	1 後期高齢者医療診療報酬支出金	255,983,061,000	255,902,540,525
2 県支出金	1,000	0	2 予備費	4,000	0
3 繰越金	1,000	0			
4 諸収入	2,000	0			
歳 入 合 計	255,983,065,000	255,902,540,525	歳 出 合 計	255,983,065,000	255,902,540,525

●後期高齢者医療事業関係業務特別会計 公費負担医療に関する診療報酬支払勘定

款 別	予算現額	収入済額	款 別	予算現額	支出済額
1 公費負担医療受入金	1,439,505,000	1,053,994,104	1 公費負担医療支出金	1,439,505,000	1,053,993,993
2 県支出金	1,000	0	2 予備費	4,000	0
3 繰越金	1,000	880			
4 諸収入	2,000	0			
歳 入 合 計	1,439,509,000	1,053,994,984	歳 出 合 計	1,439,509,000	1,053,993,993

●国保高齢者医療制度円滑導入基金事業特別会計

款 別	予算現額	収入済額	款 別	予算現額	支出済額
1 国庫支出金	1,000	0	1 総務費	13,728,000	13,026,137
2 特定資産収入	2,006,000	2,005,920	2 事業費	464,290,000	464,142,779
3 預託金取崩収入	230,737,000	228,732,720	3 特定資産支出	2,000	0
4 特定資産運用収入	2,000	15,557	4 借入金償還金	2,000	0
5 借入金	1,000	0	5 諸支出金	1,000	0
6 諸収入	3,000	0	6 繰出金	2,000	0
7 繰越金	246,415,000	246,414,719	7 予備費	1,140,000	0
歳 入 合 計	479,165,000	477,168,916	歳 出 合 計	479,165,000	477,168,916

●保険財政共同安定化事業・高額医療費共同事業特別会計

款 別	予算現額	収入済額	款 別	予算現額	支出済額
1 共同事業拠出金	63,716,718,000	63,716,717,182	1 総務費	12,143,000	11,614,919
2 国庫支出金	25,842,000	35,486,000	2 交付金支出金	64,499,409,000	64,499,407,660
3 超高額医療費共同事業交付金	153,874,000	107,332,197	3 超高額医療費共同事業医療費拠出金	122,267,000	122,266,731
4 繰入金	471,047,000	471,044,688	4 基金積立金	2,000	0
5 繰越金	370,765,000	370,765,626	5 予備費	104,428,000	0
6 諸収入	2,000	0			
7 財産収入	1,000	0			
歳 入 合 計	64,738,249,000	64,701,345,693	歳 出 合 計	64,738,249,000	64,633,289,310

●第三者行為損害賠償求償事務共同事業特別会計

款 別	予算現額	収入済額	款 別	予算現額	支出済額
1 損害賠償受入金	647,606,000	546,637,035	1 総務費	25,332,000	23,599,842
2 国庫支出金	10,000	10,000	2 損害賠償支出金	620,243,000	524,585,338
3 繰越金	5,149,000	5,148,390	3 予備費	7,192,000	0
4 諸収入	2,000	0			
歳 入 合 計	652,767,000	551,795,425	歳 出 合 計	652,767,000	548,185,180

●保険者協議会関係業務特別会計

款 別	予算現額	収入済額	款 別	予算現額	支出済額
1 負担金	1,056,000	649,048	1 事業費	1,924,000	1,417,286
2 国庫支出金	891,000	871,000	2 予備費	1,000	0
3 諸収入	1,000	0	3 諸支出金	23,000	23,000
歳 入 合 計	1,948,000	1,520,048	歳 出 合 計	1,948,000	1,440,286

●特定健康診査・特定保健指導等事業特別会計 業務勘定

(単位:円)

歳 入			歳 出		
款 別	予算現額	収入済額	款 別	予算現額	支出済額
1 手数料	46,208,000	45,852,294	1 総務費	48,708,000	44,516,987
2 国庫支出金	2,560,000	4,712,000	2 負担金	8,160,000	7,001,166
3 積立金繰入金	6,419,000	6,079,973	3 積立金	7,885,000	7,081,394
4 繰越金	12,345,000	12,344,132	4 予備費	2,781,000	0
5 諸収入	2,000	0			
歳 入 合 計	67,534,000	68,988,399	歳 出 合 計	67,534,000	58,599,547

●特定健康診査・特定保健指導等事業特別会計 特定健康診査・特定保健指導等費用支払勘定

款 別	予算現額	収入済額	款 別	予算現額	支出済額
1 特定健診・特定保健指導等費用受入金	1,152,775,000	925,268,738	1 特定健診・特定保健指導等費用支出金	1,152,775,000	925,268,738
2 繰越金	1,000	0	2 予備費	3,000	0
3 諸収入	2,000	0			
歳 入 合 計	1,152,778,000	925,268,738	歳 出 合 計	1,152,778,000	925,268,738

●特定健康診査・特定保健指導等事業特別会計 後期高齢者健診等費用支払勘定

款 別	予算現額	収入済額	款 別	予算現額	支出済額
1 後期高齢者健康診査等費用受入金	362,631,000	350,673,169	1 後期高齢者健康診査等費用支出金	362,631,000	350,673,169
2 繰越金	1,000	0	2 予備費	3,000	0
3 諸収入	2,000	0			
歳 入 合 計	362,634,000	350,673,169	歳 出 合 計	362,634,000	350,673,169

●介護保険事業関係業務特別会計 業務勘定

款 別	予算現額	収入済額	款 別	予算現額	支出済額
1 手数料	181,816,000	176,426,231	1 総務費	146,211,000	134,857,589
2 負担金	3,409,000	3,476,095	2 審査委員会費	2,342,000	2,109,366
3 国庫支出金	2,000,000	2,000,000	3 介護サービス苦情処理委員会費	928,000	706,102
4 県支出金	1,000	0	4 国保中央会負担金	39,542,000	38,511,362
5 国保中央会支出金	405,000	368,000	5 主治医意見書料等支出金	82,079,000	81,721,285
6 主治医意見書料等受入金	82,079,000	81,721,285	6 介護予防ケアマネジメント負担金支出金	1,000	0
7 介護予防ケアマネジメント負担金受入金	1,000	0	7 積立金	26,610,000	22,886,554
8 繰入金	39,190,000	33,691,544	8 諸支出金	12,000,000	12,000,000
9 繰越金	23,816,000	23,815,315	9 予備費	23,252,000	0
10 諸収入	248,000	226,422			
歳 入 合 計	332,965,000	321,724,892	歳 出 合 計	332,965,000	292,792,258

●介護保険事業関係業務特別会計 介護給付費等支払勘定

款 別	予算現額	収入済額	款 別	予算現額	支出済額
1 介護給付費受入金	152,801,131,000	146,384,140,510	1 介護給付費支出金	152,801,131,000	146,384,140,510
2 介護予防・日常生活支援総合事業費受入金	111,844,000	70,512,965	2 介護予防・日常生活支援総合事業費支出金	111,844,000	70,512,965
3 借入金	100,000,000	0	3 市町村貸付金	100,000,000	0
4 市町村償還金	100,073,000	0	4 借入金償還金	100,073,000	0
5 繰越金	1,225,000	1,225,426	5 予備費	1,227,000	0
6 諸収入	2,000	0			
歳 入 合 計	153,114,275,000	146,455,878,901	歳 出 合 計	153,114,275,000	146,454,653,475

●介護保険事業関係業務特別会計 公費負担医療等に関する報酬等支払勘定

款 別	予算現額	収入済額	款 別	予算現額	支出済額
1 公費負担医療等受入金	1,426,540,000	1,252,425,498	1 公費負担医療等支出金	1,426,540,000	1,252,425,498
2 繰越金	9,000	9,787	2 予備費	11,000	0
3 諸収入	2,000	0			
歳 入 合 計	1,426,551,000	1,252,435,285	歳 出 合 計	1,426,551,000	1,252,425,498

●障害者総合支援法関係業務等特別会計 業務勘定

款 別	予算現額	収入済額	款 別	予算現額	支出済額
1 手数料	37,805,000	40,514,686	1 総務費	26,844,000	25,146,942
2 国庫支出金	1,000	0	2 国保中央会負担金	18,975,000	17,746,386
3 県支出金	1,000	0	3 訪問調査委託料支出金	1,000	0
4 国保中央会支出金	448,000	556,600	4 積立金	5,449,000	4,617,773
5 訪問調査委託料受入金	1,000	0	5 予備費	6,604,000	0
6 繰入金	4,752,000	4,540,000			
7 繰越金	14,863,000	14,862,124			
8 諸収入	2,000	0			
歳 入 合 計	57,873,000	60,473,410	歳 出 合 計	57,873,000	47,511,101

●障害者総合支援法関係業務等特別会計 障害介護給付費支払勘定

(単位:円)

歳 入			歳 出		
款 別	予算現額	収入済額	款 別	予算現額	支出済額
1 障害介護給付費受入金	35,406,747,000	35,042,258,419	1 障害介護給付費支出金	35,406,747,000	35,042,258,419
2 借入金	78,000,000	0	2 市町村貸付金	78,000,000	0
3 市町村償還金	78,057,000	0	3 借入金償還金	78,057,000	0
4 繰越金	1,000	0	4 予備費	3,000	0
5 諸収入	2,000	0			
歳 入 合 計	35,562,807,000	35,042,258,419	歳 出 合 計	35,562,807,000	35,042,258,419

●障害者総合支援法関係業務等特別会計 障害児給付費支払勘定

歳 入			歳 出		
款 別	予算現額	収入済額	款 別	予算現額	支出済額
1 障害児給付費受入金	5,580,036,000	5,472,697,618	1 障害児給付費支出金	5,580,036,000	5,472,697,618
2 繰越金	1,000	0	2 予備費	3,000	0
3 諸収入	2,000	0			
歳 入 合 計	5,580,039,000	5,472,697,618	歳 出 合 計	5,580,039,000	5,472,697,618

●各会計合計

款 別	予算現額	収入済額	款 別	予算現額	支出済額
歳 入 合 計	691,138,141,000	677,933,959,372	歳 出 合 計	691,138,141,000	677,296,232,229

《財産目録(平成27年度)》

平成28年3月31日現在

1 現金の部	0 円 ①
2 預金の部	637,727,143 円 ②
普通預金	637,727,143 円
ア 一般会計	53,252,644 円
イ 診療報酬審査支払特別会計	407,837,138 円
ウ 後期高齢者医療事業関係業務特別会計	51,371,963 円
エ 国保高齢者医療制度円滑導入基金事業特別会計	0 円
オ 保険財政共同安定化事業・高額医療費共同事業特別会計	68,056,383 円
カ 第三者行為損害賠償求償事務共同事業特別会計	3,610,245 円
キ 保険者協議会関係業務特別会計	79,762 円
ク 特定健康診査・特定保健指導等事業特別会計	10,388,852 円
ケ 介護保険事業関係業務特別会計	30,167,847 円
コ 障害者総合支援法関係業務等特別会計	12,962,309 円
3 債券の部	0 円 ③
4 積立金の部	3,108,637,579 円 ④
普通預金	375,637,579 円
定期預金	2,733,000,000 円

区 分	27年度末(単位:円)
保険財政共同安定化事業・高額医療費共同事業基金	0
国保高齢者医療制度円滑導入基金	0
一般会計積立資産	2,171,533,159
退職給付引当資産	107,402,574
国民健康保険財政調整基金積立資産	34,119,000
後期高齢者医療財政調整基金積立資産	49,487,000
特定健康診査財政調整基金積立資産	4,635,000
介護保険財政調整基金積立資産	15,323,000
障害者総合支援法財政調整基金積立資産	3,854,000
一般会計減価償却引当資産	50,849,641
国民健康保険減価償却引当資産	491,546,486
後期高齢者医療減価償却引当資産	91,363,162
特定健康診査減価償却引当資産	3,578,617
介護保険減価償却引当資産	67,785,166
障害者総合支援法減価償却引当資産	17,160,774
総 計	3,108,637,579

合計(①+②+③+④)=3,746,364,722円

事業計画の基本方針に基づき、次の重点事項を柱に事業を実施

審査支払関係

- ① 査定率の目標値を設定し、査定率向上のための研究や職員の審査事務の質の向上を図るため係内研修・専門科チーム研修等職員の業務研修体制を充実し、審査委員との連携強化を行った。
また、審査委員会における審査の充実及び審査取扱い上の差異解消のため、審査事務共助支援システムの機能を有効に活用した事務共助を行うとともに、審査委員会から事務局に付託を受けて、職員が査定処理を行えるよう付託項目を拡大し、審査委員はその他の部分で医学的判断に専念できる体制を作った。
- ② 介護保険においては、報酬改定が行われ、事業所台帳等の整備を実施し、介護予防日常生活支援総合事業では、予防給付の地域支援事業への移行を7保険者が開始し円滑な移行に努めた。

保険者支援関係

- ① 保険者による柔道整復師の施術療養費の適正化への取り組みの支援として、保険者が「多部位、長期又は頻度が高い施術を受けた被保険者等への患者調査」を効率的・効果的に行うために、柔道整復施術療養費申請書の画像データをOCRで読み取り、被保険者情報を保険者へ提供したことで、患者調査に繋がった保険者もあった。
- ② 保険税収納率向上事業においては、国保税(料)の収納率向上を目的に保険者の徴収業務を通じての意識改革を目的とした検索から動産差押え、インターネット公表などの研修会を実施した。また、保険者に収納アドバイザーを派遣し、収納に関する指導・助言等を行いながら保険者の収納率向上を支援し、その結果については、研修会にて報告を行った。
- ③ 保険者の医療費適正化に資するため、交通事故、船舶事故、直接請求による第三者行為求償事務について保険者事務の支援に努め、損害賠償額の低い介護保険の交通事故の掘り起こしを行った。
- ④ 保険者の国保担当者、保健師等が国保データベース(KDB)システムを活用して策定するデータヘルス計画をPDCAサイクルに沿って実施するためのデータ分析の方法及び分析結果から保健事業計画策定へ展開するスキルの向上、重症化予防に向けた保健指導の実践できる技術を習得する研修会を開催した。
また、保険者が作成する医療・健診等のデータ分析に基づきPDCAサイクルに沿った効率的・効果的に実施される保健事業計画(データヘルス計画)、計画に基づき実施した事業について、「保健事業支援・評価委員会」において、指導・助言を行った。
国保データベースを活用し、データヘルス計画が策定できるようブロック別の説明会及び市町村へ個別支援を実施した。

- ⑤ 生活習慣病対策支援事業については、2保険者へ職員と、公衆衛生学の研究機関の講師を派遣し、医療・健診等のデータ分析から健康課題を明確にし、重症化予防対策等の保健事業の計画策定の支援を行い、その結果については、研修会で報告した。
- ⑥ 重複・頻回受診対策として保険者の担当者、在宅保健師向けの研修会を開催し、在宅保健師を2つの保険者に派遣し本会で抽出しているリストを基に、重複・頻回受診者を対象に訪問指導を実施した。
- ⑦ 地域の保健活動に従事する在宅保健師等の組織の支援を行い在宅保健師の増員及びサロンの増設に努め、市町村の健康まつり、高齢者の健康保持と仲間づくり、また閉じこもり防止や寝たきり予防を目的に開設しているふれあいサロンに在宅保健師等を派遣した。
- ⑧ 高齢者の健康保持と閉じこもり防止・寝たきり予防に貢献するとともに、医療費の安定化に寄与することを目的に、市町村の健康づくり推進員や在宅保健師・看護師会会員を対象として、県内9地区でふれあいサロン支援者研修会を開催しスキルアップを図った。
- ⑨ 保険者協議会の事務局として、各医療保険者間の連携・情報共有に努め、特定健診、特定保健指導推進研修及びスキルアップ研修会を開催した。また、企画調査・保健活動両部会で行う医療費分析の結果を県、医療保険者へ説明し、ホームページに掲載した。
- ⑩ 介護給付適正化支援事業については、保険者の事務の軽減と介護給付費の適正化を図るため、全保険者を対象に、縦覧点検及び医療情報との突合点検を本会で実施し、事業所への確認・過誤申立処理まで一連の作業を行った。

その他事業

- ① 広報事業においては、国保事業の健全な運営を推進するため、保険者への調査、広報委員会での意見を基に、広報番組と機関誌で連携して、保険税の収納など住民生活に関わりのある国保や介護制度の仕組みや届け出関係、保険者の参考となるように効果のあった保健事業の取り組み、医師等による疾病予防や健診受診による健康管理等についての専門的情報を発信し、機関誌の「国保かごしま」は、国保中央会の主催する国保連合会広報誌コンクールで19年度から連続して優秀作品として表彰されている。また、被保険者の健康づくりへの契機となるよう健康増進月間作文・標語コンクールの実施や保険者の医療費適正化に資するためジェネリック医薬品の利用促進ポスターを制作し、各保険者等に配布した。

保健師ルポ

「元気高齢者率」日本一を目指す

錦江町役場 地域包括支援センター 保健師

永濱 あけみ



家族会の様子



認知症予防教室の様子①

**高齢化率42・1%は
県内第2位の高さ**

錦江町は大隅半島の中部に位置し、面積は163K㎡で、錦江湾を隔てて開聞岳と桜島が一望できる展望と、花瀬川川底の千畳敷は絶景です。特産物はお茶、いちご、ばれいしょ、大根など。道の駅「にしきの里」ではこれら新鮮な特産

**認知症対策に関する
地道な普及啓発活動を実施**

錦江町には、5人の保健師が在籍しており、1人が田代支所、1人が地域包括支援センター、残り3人が本庁の保健福祉課に所属しています。

私は平成9年田代町で採用され、合併後も田代支所勤務をしていましたが、平成26年地域包括支援センターへ異動となりました。異動早々託された業務は、認知症対策でした。前述のとおり本町

品を購入することができます。ぜひ1度と言わず2度3度お越しください。お待ちしております。本町は平成17年度に田代町と大根占町で合併し、11年たとうとしています。合併当時は1万人以上いた人口が、あつという間に減っていき平成28年4月現在では、人口8129人世帯数4005世帯、高齢化率42・1%と県内第2位の高さです。

は高齢化率が高くそれに伴い認知症罹患率も高い傾向です。さて、まず何から手をつけたらいいのやら：という状態でしたが、ちょうど第6期介護保険事業計画作成時期とも重なっており、そのために事前に高齢者実態把握調査を行っていたので、住民の認知症に対する思いはどんなものなのか結果から探ってみました。

調査項目の中で、「介護予防で強化してほしいこと」の1位が「認知症の予防・支援」であり、「最も不安に思っていること」の1位が「認知症にならないか心配」2位「認知症になった時の対応がわからない」ということで、認知症に対する関心はとても高く、ほとんどの方が認知症の心配をしていることがわかりました。実際住民の方と話をしている中、やはり認知症に対する誤解と、それに伴う不安感が強いということを感じます。これは地道に普及啓発活動をしていくしかない。



認知症予防教室の様子②

そこで県の補助事業である「認知症支援体制モデル事業」も活用させてもらいながら、地域で行われているサロンで講話をしたり、自治会で行う総会や集まりに、ちよつと時間をいただいで町の現状と認知症対策について話をしました。飛び入りでやってきた私たちに、やや迷惑そうな自治会もありましたが、案外若い人が興味深く話を聞く自治会もあり、意外な収穫でした。結構あちこちで認知症の話聞く機会のある高齢者より、若い世代の方が、学ぶチャンスが少ないのかもしれない。そこを意識しつつ認知症サポーター養

成講座では高齢者世代はもちろん、役場職員、警察、郵便局、中学生などに実施しました。また、認知症疾患医療センターのサポート医を招いて、一般向け、介護・医療スタッフ向けの講演会を行いました。講演会には200人以上のたくさんの住民の方が参加され、関心の高さがうかがえました。

介護の苦労や思いを共有する家族会の立ち上げ

普及活動と同時に予防活動にも力をいれました。肝属地域リハビリテーション広域支援センターである、鹿屋市の池田病院の協力のもと認知症予防教室を実施しています。単発のものから10回コースのものまでいろいろですが、「頭がすっきりする」「もの忘れが減ったような気がする」なにより「楽しかった」という感想をいただき効果を感じています。

また、訪問活動の中で、認知症を介護されている家族から、「他に同じような人がいるんだろうか。全然情報がない」という声をききました。やはり病気を隠したがる傾向にあるので、同じ自治会内であつても知らないというのです。同じ介護をしている人と話がしたいという家族の要望を受け、家族会を立ち上げました。町内の居宅

支援事業所に、担当している利用者の家族の方で、該当する人を紹介してもらい案内文書を送っています。大根占地区、田代地区でそれぞれ月1回実施しており、参加者は1回5〜6人といったところで、月によって、前半は認知症の病気の学習をしたり、ストレス解消の運動をしたりと月替わりのメニューを行い、後半はメニューの感想だったり、介護の現状だったりをお互いで話します。きれいごとではすまされない、介護しているからこそ経験する苦労や思いは他では話せない。このような場ができてよかったと概ね好評です。



認知症予防教室③ 調理実習

住み慣れた家で生活を送るには地域力が不可欠

平成28年度より肝属郡医師会立病院に委託する形で、認知症初期集中支援チームの活動も開始し、個人への支援を強化する中で、地域へのアプローチも変わらなくては。認知症に限らず住み慣れた家で1日でも長く自分の望む生活を送るためには、自己管理能力と家族力、そして地域力が不可欠ではないかと考えます。現在やっている事業が果たして効果的なのかすぐには見えませんが、住民のみなさんと話しあいながら探していくしかありません。高齢化率は県内2位のわが町ですが、「元氣高齢者率」は日本一をめざして、まだまだ手さぐりの毎日です。



介護予防運動教室



市町村の取り組み

てげてげ広場事業

枕崎市

みんなが寄って、語って、笑って
頑張り過ぎない、ちようどいい集いの場

高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けるために、歩いて通えるところに集える場を増やしたい。住民主体の介護予防活動を行うことで、参加者である高齢者自身が担い手として活躍でき、住民同士の生き生きとした交流が生まれやすいと考え創設された枕崎市の「てげてげ広場事業」を紹介する。



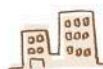
腕を前に上げる体操(肩関節屈曲)



おもり1本200g、最大10本装着



ひざを伸ばす体操(膝関節伸展)



住民主体で行う
介護予防

枕崎市では「元気な人はもっと元気に」、「ちよつと弱ってきたな、という人は再び元気に」、そして「介護サビスなどの支援が必要な人も、少しでも自分でできるように」なってもらうために、「てんとうむし体操」で介護予防に取り組んでいる。このてんとうむし体操という意味の転倒で、転ばないように筋力や体力を付けるための体操である。高齢者が転んで骨折などをしてしまうと、そのまま寝たきりになることが多いため、介護予防になる。

この日訪れたのは、立神岩も近くにある大堀公民館。てげてげ広場は、歩いて通える地元の公民館で毎週1回行われている。集まったらまず、血圧測定。参加者が個人個人で、

その日の体調を確認するための参考にする。



森智賀保健師

てげてげ広場では、介護予防を目的として、音楽(童謡)に合わせて毎回6種類の筋力アップ体操である「てんとうむし体操」を行う。参加者が手や足に付けていたのは、枕崎市が無料で貸し出しているおもり。この中に一本200gのおもりを最大10本まで入れられ、参加者それぞれの体力やその日の体調に合わせて調整し、イスに座ったりつかまったりして体操を行う。てんとうむし体操を続けると筋力や体力だけでなく、今の生活を維持することができるといふ。

てげてげ広場の基本ルールは週1回、3人以上で誘い合つて集まり、自治公民館単位で実施し、地域に住んでいる高齢者の方であれば、誰でも参加可能であること。イス、CDプレイヤー、血圧計を地域で準備すること。1回目から5回目までは市の職員が手伝い、6回目からの運営は参加者全員で行うことである。3カ月後に体力測定を行い、年



「ささえ愛マップ」は地域内の高齢者の家を地図上で見つけて印をつける

2回は歯科衛生士による口腔指導などを行う出前講座を実施している。平成27年度から始まり、今では4箇所で行われている。

体操が終わったら、地域の地図を見ながら近所に住む高齢者を確認して、知り合いを誘って参加者を増やしたり、見守り活動に役立てる「ささえ愛マップ」の作成に取り組んだ。「てんとうむし体操」は、地域の高齢者のふれあいの場でもあるのです。」

そう話すのは、枕崎市地域包括ケア推進課地域包括支援センターの森智賀保健師。体操以外の活動へと自発的に発展してもらえたらと期待している。

枕崎市は「てんとうむし体操」を通じて、身体機能低下の防止や社会活動の促進、地域における見守り力の強化、高齢者同士の支えの仕組みづくりを推進し、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせる環境整備を図ろうと取り組んでいた。

てんとうむし・体操

地域包括ケア推進課

第1の体操

腕を前に上げる体操 (肩関節屈曲)

ゆっくりと手を肩の高さまで前方に上げます。4秒かけてゆっくりと持ち上げ、4秒かけてゆっくりとおろします。



第2の体操

腕を横に上げる運動 (肩関節外転)

ゆっくりと手を肩の高さまで横に上げます。4秒かけてゆっくりと持ち上げ、4秒かけてゆっくりとおろします。



第3の体操

イスからの立ち上がり

胸の前で手を組み、背もたれにもたれた姿勢から始めます。8秒かけてゆっくりと立ち上がり、8秒かけてゆっくりと座ります。5回×2セット(計10回)行います。
※立ちにくい場合は、膝上に手を置いて立ち上がりの補助をしても構いません。



第4の体操

ひざを伸ばす体操 (膝関節伸展)

ゆっくりと膝を最後まで伸ばします。同時に足の指先をしっかり起こすように上げます。4秒かけてゆっくりと持ち上げ、4秒かけてゆっくりとおろします。



第5の体操

脚の後ろ上げ体操 (股関節伸展)

ゆっくりと脚を後ろに上げます。(30cmほど) 4秒かけてゆっくりと持ち上げ、4秒かけてゆっくりとおろします。



第6の体操

脚の横上げ体操 (股関節外転)

ゆっくりと脚を横に上げます。4秒かけてゆっくりと持ち上げ、4秒かけてゆっくりとおろします。



参考: 岡山県津山市「めざせ元気!! こけないからだ講座」